

学校安全・防災だより

【第9号】

防災教育推進キャラクター
「まもっぺい」
令和5年9月29日（金）
保健体育安全課発行



学校防災の取組を支援します！

— 学校防災アドバイザー活用事例 —



積極的に活用
してください！

県教育委員会では、学校防災に係る相談に対し、専門的な知見が必要となる場合には、学校防災アドバイザーを学校に派遣し、助言等を行っています。今年度、各学校で活動した一例（報告書一部抜粋）を紹介します。

【 教職員対象防災研修会 大崎市立松山小学校 】

「洪水を想定した場合の緊急避難場所の考え方」

アドバイザー：東北大学災害科学国際研究所
佐藤 健 教授

令和4年7月15日から16日の豪雨を基に、土砂災害・洪水の警戒レベルや市町村による避難情報発令時の対応について学ぶ研修を開催しました。

大崎市松山地区洪水ハザードマップの説明では、松山小学校は0.5～3.0mの浸水が予想されることを踏まえ、校舎2階への避難も選択肢の一つに考えられることを助言いただきました。

研修会を通して洪水・浸水に対する職員の危機意識が高まり、今後の避難訓練に向けて有意義な研修となりました。



◎ 松山小学校では、アドバイザーの助言を基に、豪雨被害状況について、大崎市松山総合支所地域振興課防災担当者と情報を共有し、行政の対応を確認しました。また、今後、近隣の施設と合同で水害避難訓練を予定しています。

【 生徒対象防災講話 登米市立津山中学校 】

「学んだことを発信する方法を学ぶ」

アドバイザー：東北大学災害科学国際研究所
佐藤 翔輔 准教授



防災学習における地域との交流会を実施するにあたり、「伝える」のではなく「伝わる」ための10原則について、具体的な事例を交えながら講話をいただきました。

今後、生徒が作成した被害マップや災害想定マップを活用して、地域の方々に「伝わる」情報発信ができるように準備していきます。

◎ 地域との交流会や地域にある防災倉庫の見学等を通して、地域での防災意識を高め、有事の際に命を守り抜くことはもちろん、「自助・共助・公助」の視点で、中学生でもできることを考え、3年間のまとめの発表会に臨む予定です。

【 防災教育推進委員会における助言 南三陸町立入谷小学校 】

「学校と地域が協働で取り組む防災教育の在り方について」

アドバイザー：
東北大学災害科学国際研究所
佐藤 健 教授

学区にある各地区行政区長をはじめ、南三陸町危機対策係、南三陸消防署、地元の駐在所長、公民館長、幼稚園長、教育委員会、進学先の中学校のPTA会長と教員などが参加した、防災教育推進委員会を開催しました。

アドバイザーからは、防災教育は学校だけでは難しいことを踏まえ、①コミュニティ・スクールを活用すること、②まちづくり協議会等を活用すること、③学区に伝わる歴史から防災教育の在り方を探ることについて助言いただきました。また、「避難訓練チェックリスト」*を活用することで、訓練に客観性を取り入れられることについても紹介いただきました。



◎ 学校のホームページに会議の様子を載せ、内容を広く知らせるとともに、避難訓練において、地域の方々をお迎えし、チェックリストを活用しながら客観的に活動を振り返ることができるようにしていきます。

※避難訓練を保護者や地域住民、関係機関等に参観・評価してもらう際に使用⇒



アドバイザー活用事業については、引き続き継続しておりますので、積極的に活用をお願いします。下記アドレスから申し込みください。

【相談方法】ホームページ

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hotai/bousaisoudan.html> から、

「様式第1号 学校防災に係る相談シート」をダウンロードし、必要事項を記載の上、メールで相談ください。

【費用等】無料

【相談先】保健体育安全課 学校安全・防災班

hokenaa@pref.miyagi.lg.jp ^



生徒が発案！総合防災訓練

テーマ：『想起～経験を思い出し、“いつか”の備えに～』

9月21日（木）に女川高等学園で、訓練内容を生徒が主体的に考えた総合防災訓練が行われました。訓練には、地域住民の方々も参加し、積み重ねてきた防災学習の成果を共有しました。

午前の部では、3グループに分かれ、水に見立てたペットボトルの中を歩く浸水歩行訓練や、避難をする際に限られた時間で持ち出すものを決める防災リュック作り、応急処置訓練を体験しました。

午後は、アルファ米の試食や避難所運営訓練を行い、避難所運営の大変さを感じていました。地域住民と連携した“いつか”の備えのための貴重な訓練となりました。

10月13日（金）には、地域と共に学ぶ防災研修会が開催されます。

